

<2026年大学日本画展開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）は、運営母体であるあいおいニッセイ同和損保のメセナ活動として、全国の大学・美術大学と連携し日本画を学ぶ学生・卒業生に発表の場を提供しております。この企画は、日本画を志す若手作家の育成とともに、全国の美術教育・研究活動を支援し、日本画の伝統と日本文化の「美意識」「精神性」「技法」を未来へ受け継ぐことを目指すものです。

2026年から10校が参加、若手日本画作家がそれぞれの作品を発信するロングラン企画（1月～8月）です。今回は6月27日（土）から女子美術大学日本画修士在学学生、櫻井 梨乃・游 可欣・郭 語欣・穴戸 ゆきみ 4名による展覧会を開催いたします。

■展覧会概要

タイトル	『トリフォリウム』 ～第47回大学日本画展 <女子美術大学日本画修士在学学生 展>～
会期	2026年6月27日（土）～7月12日（日） 11:00～19:00（月曜定休・最終日17:00まで）【入場無料】
会場	UNPEL GALLERY 東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F
参加作家	櫻井 梨乃（サクライ リノ）、游 可欣（ユウ カシン） 郭 語欣（カク ゴキン）、穴戸 ゆきみ（シンド ユキミ）
展覧会内容	本展覧会は、女子美大学大学院での日本画教育を共通の土壌とする、若手作家による企画展です。彼女たちの作品が共鳴し合い、新しい美を提示する場となることをイメージして名付けたタイトルの「トリフォリウム」とは、ラテン語で「三つ葉」の意味を持つ言葉です。今年は幸運の象徴「四葉のクローバー」を連想させる4名での展示となります。日本画の持つ奥深い魅力とともに、その表現の更なる可能性を感じていただける機会となれば幸いです。 ◆150号程度の作品 2点 100号以上の作品 2点 その他 100号未満の作品 4点程度 小品他 展示予定
主催	女子美術大学 日本画研究室
企画	UNPEL GALLERY
協賛	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

<ご連絡・お問い合わせ先>

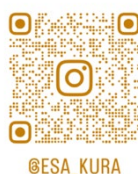
ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 / 井上・渡邊）

E-mail / tsubaki@unpel.gallery <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781 * お問い合わせは E-mail にてお願いします

■作家プロフィール

櫻井 梨乃 Sakurai Rino



千葉県出身

現在 女子美術大学大学院 美術研究科 博士前期課程

日本画研究領域在学中



2024 年 JOSHIBISION2023 “アタシの明日”女子美術大学学生選抜

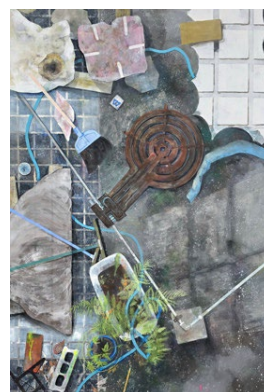
作品展 (東京都美術館 上野)

東京銀座プチ・ベラドンナ展

2025 年 女子美術大学 卒業制作 日本画研究室特別賞

女子美術大学大学院日本画新 1 年生展

(Joshibi SPACE1900 神奈川)



「乱した整えた」

2025 年制作

1940mm×1303mm

和紙、岩絵具

【コメント】

人工物の量産された直線と自然が作り出した無二の曲線を
掛け合わせた作品を描いています。

游 可欣 You Kexin



中国福建省出身

現在 女子美術大学大学院 美術研究科 博士前期課程

日本画研究領域在学中



2024 年 第 42 回上野の森大賞展 賞候補

2025 年 女子美術大学学部卒業

女子美術大学 卒業制作 日本画研究室特別賞

個展『遊園地に行こう』(中央ギャラリー 銀座)

第 52 回創画展 入選



「日曜日、曇り」

2025 年制作

1167x1323mm

雲肌麻紙、岩絵具、玉蟲箔

【コメント】

私は夢と現実の間の空間を日本画で表現しています。第一人称で、
このような角度から世界を観察することを意識して制作しています。

■作家プロフィール

郭 語欣 GUO YUXIN



@GYX1650957289

中国蘇州出身

現在 女子美術大学大学院 美術研究科 博士前期課程

日本画研究領域在学中

2023 年 Joshibi SPACE1900「日本画大学院×学部交流展
(Joshibi 1900)」

2023 年 石本正日本画大賞展 入選 (島根県浜田市立石正美術館)

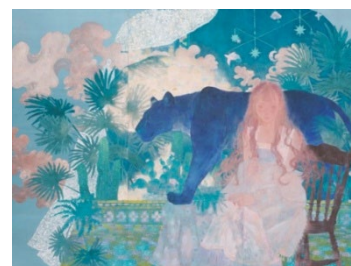
2025 年 日本画院展 奨励賞受賞 (東京都美術館)

2025 年 女流画家協会展 入選 (東京都美術館)

2025 年 日本画院と山梨の日本画展 入選 (山梨県立美術館)

2025 年 市民公募「夢美エンナーレ」入選作品展 入選
(八王子市夢美術館)

2025 年 公益財団法人ギオン芸術スポーツ振興財団奨学生



「夜を連れて」

2026 年制作

2273x1720mm

雲肌麻紙、岩絵具、雲母

【コメント】

絵画は、私にとって言葉に置き換えることのできない内面の「言語」だと考えています。声にすることが難しい感情や記憶、夢の断片を色彩や形へと転化しながら、鑑賞者との情感の共鳴を生み出すような表現を目指しています。

穴戸 ゆきみ Shishido Yukimi



東京都出身

現在 女子美術大学大学院 美術研究科 博士前期課程

日本画研究領域在学中

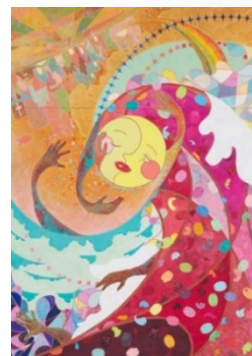


2024 年 三井住友銀行 作品貸出

2026 年 女子美術大学 卒業制作 日本画研究室特別賞

【コメント】

子どもたちにとって戦争の歴史を知る“きっかけ”になることを目的とした「見ていて悲しくない戦争画」を制作しています。悲惨さや残酷さの再現だけではなく、精神的な負担が少ない、トラウマを与えない表現方法で「一人ひとりの戦争の記憶継承・平和の追求」に繋げるための絵画表現を追求しています。



「太陽と月の待ち合わせ」

2026 年制作

2273 × 1620 mm

雲肌麻紙、水干絵具、岩絵具、色鉛筆